

株式会社NTTドコモ

項目	内容
1.企業情報	<ul style="list-style-type: none">● 業種：電気通信事業● 事業概要：通信事業、スマートライフ事業● 事業規模[任意]：（売上、拠点数、従業員数など）
2.削減目標案 ※定量値公表が難しい場合、定性的説明でも可	<p><Scope 1・2 の削減目標と削減に向けた取り組み> 取り組み：省エネ設備の更改、グリーン基地局の開発・導入強化</p> <p><Scope 3 の削減目標と削減に向けた取り組み> サプライチェーン全般について、取組み見直しを検討中</p>

株式会社NTTドコモ

項目	内容				
3.基準年のGHGインベントリ[数値は任意]	● Scope 1・2・3の排出量の状況				
	スコープ	カテゴリ(スコープ3)	算出方法	排出量(tCO ₂)	割合(%)
	スコープ1:直接排出			66,540	1.8
	スコープ2:間接排出			1,524,632	40.3
	スコープ3:その他の間接排出			2,191,986	57.9
	1.購入した製品・サービス	主要な購入品である「携帯電話」に関して、調達台数に上流の排出原単位を乗じて算出		108,966	2.9
	2.資本財	設備投資額に情報・通信機器の排出原単位を乗じて算出		1,623,840	42.9
	3.スコープ1,2に含まれない燃料およびエネルギー関連活動	使用した燃料・電力購入量に原単位を乗じて算出		103,697	2.7
	4.輸送、配送(上流)	携帯電話の販売台数に、1台あたりの輸送排出原単位を乗じて算出		10,443	0.3
	5.事業から出る廃棄物	廃棄物の排出量に廃棄物種別・処理種別ごとの排出原単位を乗じて算出		1,435	0.0
	6.出張	交通費支給額を交通手段利用率で按分し、各排出原単位を乗じて算出		3,894	0.1
	7.雇用者の通勤	通勤費支給額を交通手段利用率で按分し、各排出原単位を乗じて算出		2,577	0.1
	8.リース資産(上流)	(算出対象外)		-	-
	9.輸送、配送(下流)	(カテゴリ4.上流に含めて算出)		-	-
	10.販売した製品の加工	(算出対象外)		-	-
	11.販売した製品の使用	携帯電話契約数に、回線あたりの排出原単位を乗じて算出		254,592	6.7
	12.販売した製品の廃棄	携帯電話の販売台数に、1台あたりの廃棄排出原単位を乗じて算出		934	0.0
13.リース資産(下流)	(算出対象外)		-	-	
14.フランチャイズ	ドコモショップの延床面積に延床面積あたりの排出原単位を乗じて算出		81,607	2.2	
15.投資	(算出対象外)		-	-	
合計			3,783,158	100	
	● SCOPE1 : [tCO ₂] (任意)				
	● SCOPE2 : [tCO ₂] (任意)				
	● SCOPE3 : [tCO ₂] (任意) 目標の対象セクター :				

項目	内容
<p>4.気候変動によるリスクと 機会の分析</p>	<p><リスク></p> <ul style="list-style-type: none"> ・炭素税の引き上げによる電力料金等への価格転嫁の影響を受けるリスク ・平均気温上昇に伴い設備冷却用空調電力の消費量が増加することによる、電力コスト増加のリスク ・温室効果ガス排出量削減への取り組みが消極的であるとステークホルダーにとらえられた場合、顧客離れや株価への影響を与えるリスク <p><機会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・気候変動により、大雨や台風の増加など自然災害が懸念されることで、ドコモのICTを活用した災害監視支援サービスの需要増加が見込まれる。 ・気候変動問題の拡大に伴い、消費者全体が環境に配慮した移動手段を選択するようになり、ドコモグループのサイクルシェアリング事業の需要喚起となりうる。
<p>5.削減目標設定の背景・目的・期待する効果など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・パリ協定を受けた国際的な2℃目標への対応 ・顧客や投資家等からの外部評価向上 ・サプライチェーンの中で目標設定を要請される可能性があるため

株式会社NTTドコモ

項目	内容
6.目標設定のプロセスと社内の議論	<ul style="list-style-type: none">・SBT認定基準と合致しているかを確認するため、自社の2030年目標（2016年10月制定）をSBTイニシアチブへ提出。・社内の幹部会議にて、2℃目標に関する国際的な動きやSBTの概要について都度情報共有を実施。・今後の自社GHG排出量予測をふまえ、認定基準を満たすSBTを検討中。
7.今後の課題	<ul style="list-style-type: none">・SBT達成のための具体的なコスト試算（再生可能エネルギーの電力料金）・海外と比較した際の日本の再生可能エネルギーの電力料金の高さ・省エネルギー設備の開発、導入